

Kyoto Building Maintenance Association News No.59

公益社団法人 京都ビルメンニュース 第59号

発行日/2012年10月1日 発行所/公益社団法人 京都ビルメンテナンス協会



平成24年度 労働安全衛生標語 京都協会作品

小さな改善 大きな安全 みんなで築こう ゼロ災害

小さなミスの反省が 災害防止の第一歩

谷 祐智 (株)シエイアール西日本総合ビルサービス

國府 幸雄 中信興産(株)

ヒヤリハットを心がけ今日も一日安全作業

森田 安子 双葉メンテナンス工業(株)

CLEAN CREW



# 「ビルメンテナンス業に係る労働災害防止研修会」開催

8月10日(金) 京都府中小企業会館 708会議室

8月10日(金) 午後1時30分より、「ビルメンテナンス業に係る労働災害防止研修会」が、京都上労働基準監督署、公益社団法人京都ビルメンテナンス協会、京都産業保健推進センターの共催にて開催され、45社60名のご参加をいただきました。

まず、京都上労働基準監督署 谷口所長のご挨拶から研修会が始まり、京都上労働基準監督署 森労働基準監督官より「労働災害の現状等」について報告がありました。

続いて、独立行政法人労働者健康福祉機構 桑村明男氏より「ビルメンテナンス業における労働災害防止」について、労働基準法のポイント並びに、労働災害防止の為のリスクアセスメントや、高齢労働者の就労対策に関する手法等、詳しくご講義頂きました。

最後に、京都上地域産業保健センター 西村文雄氏より「京都上地域産業促進保健センター事業の概要」について、お話を聞かせていただきました。

多くのご参加をいただいた背景には、最近の労働災害の特徴として、高齢労働者(50歳以上)の事故率が90%を超えていることなどから、事業者による労働災害防止策への取り組みや、多様な就労形態に応じた労務管理が求められているということへの関心の高さがうかがえ、実りのある研修会となりました。

結びに、京都協会 河本副会長の挨拶にて研修会は終了いたしました。

以上

## 全国アビリンピック～ガンバレ!京都代表 奥野選手・和歌山代表 阿部選手

全国アビリンピック大会が、来る10月21日(日)に長野県にて開催されます。昨年は世界大会が行われた年であった為、全国大会はありませんでしたが、前回3位入賞に輝いた京都協会は更なる上位を目指す為、第1回目の練習会を、平成24年9月13日(木)和歌山協会(代表:阿部さん)と合同で、京都府中小企業会館801号室にて行いま

した。

京都の予選を勝ち抜いて、この度全国大会に出場する京都府代表の奥野真穂さん(19歳)は、今年の2月5日(日)に行われた競技会から、7か月ぶりの練習会でしたが、何度かの練習により徐々に好タイムを出せるところまで仕上がってきました。

練習会は9月20日(木)、10月9日(火)、10月

16日(火)の3回行う予定です。前大会以上の結果を出したい京都協会(公益事業委員会)は、短時間ですが、細かいところまでの指導を入念に行いました。

合同で練習会をした和歌山協会も、是れとも良い結果を出して頂きたいと願っております。

## 平成24年 京都ビルメンテナンス業安全衛生大会 開催

10月3日(水) 京都テルサ大ホール

10月3日(水)、京都ビルメンテナンス協同組合、新京都メンテナンス業協同組合、京都府南部ビルメンテナンス協同組合のご協



賛を頂き、公益社団法人京都ビルメンテナンス協会主催にて「京都ビルメンテナンス業安全衛生大会」が、京都テルサ大ホールにて、開催されました。

職場の安全と健康を守ることを目的として、毎年行われており、大会に約200名の参加いただきました。当京都協会植西会長の開会挨拶で幕を開け、京都労働局 労働基準部健康安全課西田課長様より「労働災害の現状と対策について」、京都府警察本部交通安全教育係長中塚警部補様より

「見落とし事故に注意」の講習がパワーポイントやゲームを使って行われました。

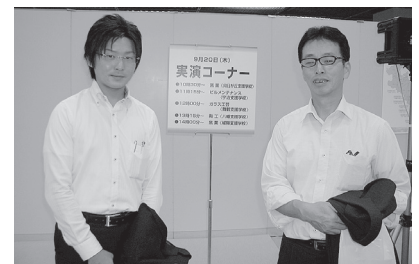
また、特別講演としてナオユキ様の漫談「消費税で営業ドタバタ、くらしアタフタ」で盛り上がった後、安全標語京都協会優秀作品3作品(下記掲載)の表彰、安全委員長より「労働災害発生システム」の説明、参加者全員での安全宣言の唱和で、労災防止に対する意識を高め、最後に恒例の抽選会を行い閉会致しました。

## ふれあい・心のステーション

9月19日(水)・20日(木) 京都大丸6Fイベントホール

9月19・20日の2日間に渡り京都大丸6F イベントホールにおいて「ふれあい・心のステーション」が盛大に行われました。2日目の20日、午前11時15分から京都府立宇治支援学校の生徒による実演コーナーにおいて、ビルメンテナンスの発表がありました。3年生の男子生徒2名による実演会で、日頃学校の授業等で取り組んでいる清掃作業

作業開始→手順書・配置図の作成→設置物の移動→自在ボウキ→乾式モップ(ダストクロスモップ)→ゴミの除去→湿式モップ→設置物の移動→設置物拭き→最終確認→作業終了 以上の工程を12分で行いました。作業開始時は、少し緊張していましたが作業が進むにつれて解れて行き、日頃の成果が出たようでした。観客から、



(全協: 芦野氏/京都協会: 奥本理事が来訪されました)

まよう事なく、二人一組が協力し合いながらテキパキと作業している姿は、高校生らしくった等の感想も聞けました。今後を期待します。

# ビルクリーニング技能検定 基礎講座

9月13日(木) 京都府中小企業会館801会議室

9月13日(木)京都府中小企業会館801会議室にて、第36回ビルクリーニング技能検



定に向けての基礎講座・初級が受講者18名の参加の中、行われました。

基礎作業として、タオルによる机の拭き掃除・コートを使つてのダスタークロス・自在ほうきによる掃き掃除・モップを使つての拭き掃除・ポリッシャーの操作方法の5つの作業を、受講者を5班に分けて指導しました。

初級を受講された方々より、知識向上の指導に対する高い評価を得て、意義ある講習会となりました。



初級から始まるこの講習会が、本年度もビルクリーニング技能士合格者数の増加に繋がる事を願っております。

## 平成24年度 KBMA 研修旅行と

### 第14回 KBMA チャリティーゴルフコンペ

9月4日(火)・5日(火)

9月4日(火)・5日(水)、一泊二日の予定にて、例年より一ヶ月早く、研修旅行及び、チャリティゴルフコンペが挙行され、今回は、昨年より13名も多くご参加頂き、総勢44名にて、晴天の中、北陸・中部方面へ向け出発いたしました。

初日は、「白山スーパー林道」世界文化遺産「白川郷・五箇山合掌造り集落」を訪れました。石川県と、岐阜県にまたがる未開発資源開発を目的としたスーパー林道、遠くに白山や高い山々を臨む事ができ、大小の滝が流れ落ちる溪谷、9月というのに未だぶなや松の原生林の美しい深緑、その中にスキの穂、萩の花に秋の気配を感じながらバスに揺られました。

林道を後にして訪れた合掌造り2つの集落は、少し趣が異なっていました。白川郷へは、今回はバスで城山展望台まで登つての見学となりました。ここは観光に力を入れておられ、知名度も高く多くの人が訪れておりました。

一方五箇山は、未だ素朴さが残されており、集落には築100年～200年経った合掌造りの旧家がどっしりとその威容を保っております。この状態をいつ迄も残して欲しいものです。



2日目は、ゴルフ組と観光組に分かれ、ゴルフ組の25名は、朝早くからゴルフ場に向かい、残暑の中、第14回チャリティゴルフコンペが開催されました。

観光組は、朝食をゆっくりととり、宿を出発、まずは、富山(南砺市中心)の文化、歴史に触れることからスタートしました。ボランティアガイドのユーモアあふれる説明の中に町の歴史を感じながら訪れた「井波の町」「瑞泉寺」、木彫りの町として古く(約600年前)から培われてきた技術(寺社彫刻、民家の室内彫刻等)が、町の至る所々(民家の表札、町のバス停、案内板等)で見受けられました。何と云っても圧巻は瑞泉寺(約600年前に開山。現在、本堂の改修工事中で本堂は見学出来なかったが。)…勅使門の門扉の菊・獅子、太子堂の蛙股・梁、山門の龍等の彫り物、度々の火災により彫り方にも年代に違いがあり、その歴史を感じる事が出来ました。度々の火災に町衆の手で寺を燃やしてはならんと築かれた山門前の大石垣は、熱意を感じさせられる豪建・



豪快な物でした。

最後に訪れた「八尾の町」、おはら風の盆は終わっていましたが、かつて富山藩の納戸と言われた位に、養蚕、和紙の町として繁栄した町で、今もその名残として、和紙の工房があちこちで見られました。その繁栄を象徴する「曳山(山車)」、有名な祭り「おはら風の盆」を永年にわたり護り育てて来られた土地の人々の、自分らの町を愛される気配を感じる事が出来ました。

午後2時40分、ゴルフ組と合流、一路、京都へとバスは走り、車中では、ゴルフコンペの結果発表が行われ、山元総務厚生委員長より「皆様のご協力により、チャリティ基金として66,500円が集まりました」とのお礼報告がありました。

こうして過ごした2日間、参加者がお互いに仲間意識を高めることが出来、有意義な研修旅行となりました。



記事：広報委員会

# アビリンピック京都大会 競技技術指導者講習会 第1回

9月18日(火) 京都市立鳴滝総合支援学校 壬生サテライト

この度、アビリンピック京都大会の競技技術指導者講習会(第1回)を平成24年9月18日(火)、午後1時30分から4時30分まで京



都市立鳴滝総合支援学校のご協力のもと、壬生サテライトの会場を提供して頂き、行いました。

今後のアビリンピック競技大会に対する指導の統一化、並びに公益性を広げる事を目的として、9名の参加指導者(鳴滝総合支援学校(男性1名)、西総合支援学校(女性1名)、一般社団法人 和歌山県ビルメンテナン協会(女性3名)、里地クリニック(男性1名)、社会福祉法人 第三かめおか作業所(男性1名)、社会福祉法人 京都光彩の会(男性1名、女性1名)に講習を致し



ました。

指導者講習会を行うにあたり、遠方からこの講習会に参加して頂いている為に、様々な問題点はありますが、京都協会(公益事業委員会)として、この講習会の目的をしっかりと果してゆきたいと思ひます。

尚、第2回目の競技技術指導者講習会は平成24年10月9日(火)に設定しております。

## 青年部西日本サミット in 岡山

9月13日(木)

まだまだ、残暑が厳しい9月13日、岡山におきまして、「青年部西日本サミットin岡山」が開催されました。青年部西日本サミットは、平成19年(2007年)に福岡で始まり、今回の岡山で、6回目を迎えました。

(公社)京都ビルメンテナン協会青年部としましては、前回までオブザーバーとしての参加でしたが、今回から近畿地区も正式メンバーとして加わり、渡守部会長以下3名で参加致しました。

今回の西日本サミットの開催目的は、西日本エリアに属する各府県の青年部へ、西日本サミットの開催意義・参加意義の浸透を図ると共に、今回不参加の地区にも本事業の意義を発信し、賛同して頂けるエリアの拡大を目指すという目的で開催されました。

開催に先立ちまして、今回の西日本サミット参加13府県の部会長・副部会長による部会長会議が行われ、次回の西日本サミットは、兵庫で行うことが決定されました。

部会長会議のあとに行われた、パネルディスカッションでは、事前に回収されたアンケートの結果を踏まえ、各府県の部会長・副部会長から、積極的な意見が交換されました。

また、西日本サミットをビジネスサミット、ビジネスネットワーク構築の場として有効に活用することや、青年部全国大会との開催意義の差別化、今後の西日本サミット運用について等、各府県青年部の事情も踏まえた、様々な意見が交換でき、盛況のうちに終了致しました。



懇親会では、西日本サミット参加13府県47名が参加。各府県青年部の部会長・副部会長と十分な情報交換を行い、親睦を深めて参りました。10月に鹿児島で開催される青年部全国大会での再会を誓い、西日本サミットin岡山は、無事に終了致しました。

今回の西日本サミットでは、各府県青年部の様々な熱き思いを感じることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

今後も京都から、西日本から、全国に向けて、様々な提言を発信できるような活動を展開したいと改めて感じた次第です。

コ

ラ

ム

「お祈り・お祓いを  
受けるときは？」

●神様のご加護を願う祈禱  
「祈禱」とは、神様のご加護をいただけるようにお願いすることです。たとえば、七五三や入園入学のとき、また節分や厄除け、家内安全や交通安全、商売繁盛などをお祈りします。神社の中で行われる祈禱のほかにも、家を建てるときの地鎮祭や上棟祭(式)、竣工祭(式)など、神職が神社の外に出向いて行う祈禱もあります。

●祈禱の前のお祓い  
お祓いは、神様をお招きする前に心身の穢れを落とすことです。お祓いでは、まず神職が祝詞をあげ、そのあと参列している人がみな頭をさげた姿勢でお祓いを受けます。お祓いで使う道具には大麻や切麻、米、塩、酒、野菜などがあります。

**KBMA**  
**京都ビルメンニュース**  
第59号(2012年秋号)  
Kyoto Building Maintenance Association News

編集人:広報委員会 発行人:植西雅史  
発行所:公益社団法人 京都ビルメンテナン協会  
〒615-0042  
京都市右京区西院東中水町17 京都府中小企業会館6F  
TEL:075-314-8021 FAX:075-314-3860  
ホームページ <http://www.kyoto-bma.or.jp/>

会員の变更事項

**【正会員】**  
●代表者变更  
(株)ダイケングループ 京都営業所  
代表者/飯塚 学(平成24年8月变更)

### ビルメンテナンスのプロ集団に仲間入りしませんか?

私たちは多くの企業様の加入をお待ちしています。詳しくはホームページ「(公社)京都ビルメンテナン協会検索」をご覧ください。協会事務局までご連絡なくお問い合わせください。